

同窓会を開催し、かつての学び舎を訪問しよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今朝の「開倫塾の時間」では、先週の土曜日、23日に高校のときの同窓会がありましたので、そのお話をさせていただきます。
2. 私が卒業したのは、栃木県立足利高校です。地元に住んでいますので、高校3年生のときの担任の先生から「同窓会の幹事をやりなさい」と言われ、同級生の何人かと幹事団を組んで準備を進め、23日に久しぶりに同窓会を開かせてもらいました。昔は1クラスの生徒数が多く、51名もいました。その中の22名の方に参加していただきまして、本当によかったなあと思います。
3. 高校時代ですから、いろいろな思い出がありますが、驚いたことには22名の参加者のうちお医者さんが3名いました。それから、裁判官の方、日本にペットボトルを紹介して事業化した日本ペットボトル協会の会長さん、日本不動産鑑定士協会の会長を務めていた不動産鑑定士の方もいました。今回は不参加でしたが、ほかにお医者さんが2名います。また、病理を勉強して医学博士を取った方もいて、非常に優秀な方が多いクラスでした。さらに、非常にユニークな方もいます。その一人が、コーエーという会社の創業者・社長で「信長の野望」や「三国志」を作った襟川陽一君です。襟川君とは、同じ高校で3年間を過ごし、大学も同じところに進学しました。このように、ゲームクリエイターになった方もいる非常にユニークなクラスでした。
4. では、なぜ優秀でユニークな方をたくさん輩出したのかというと、わりと変わった先生というか、ユニークな先生が多かったからではないかと思います。今でいうと、よい意味での極端な方ですね。例えば国語の先生は「とにかく本を読みなさい。本の読み方を教えるから、その通りやりなさい。好きな作家を決めたら、その作家の本を全部読みなさい」といっていました。先生のいうことですから、皆さん結構本気にして、志賀直哉の「暗夜行路」なども読みました。この本は高校生が読むには随分長かったため、読み終わるのに夏いっぱいかかってしまいました。ほかには、「夏目漱石を読みなさい」といわれると、夏目漱石の全集を図書館で貸りてきて読み始める方もいました。また、新潮社や岩波文庫から出ている好きな作家の文庫本を全部買って読んだりする方が多かったです。このように、その先生の影響をものすごく受けて、とにかく全員が本をよく読むクラスでした。ほかのクラスからも優秀な方がたくさん出て、同じように本をよ

く読んでいました。ですから、もしかしたら本を読むことによって読解力がつき、勉強にもよい影響を受けたような気がします。

5. それから、夏休み中は学校に行って、バケツに水を入れて足を突っ込んでずっと勉強し、飽きたらプールに行って泳ぐという生活を3年間した方もいたという話を、あとで聞きました。私は、夏休み中はずっと休んでいて、そういうことはしなかったのですが、そんな熱心な勉強グループもいました。そのグループに、ほかの生徒がよい影響を受けて3年間を過ごしたため、大学に進学する際にもわりとよいところに合格した方が多かったのだと思います。ですから、熱心な先生がある程度いらっしゃって、そのような先生が極端なご指導といたしますか、「本を読みなさい。読むんだったら、全集などで、その作家の本をみんな読みなさい」というご指導をしてくださったお陰で、そのクラスは第1志望校に合格なさった方がわりと多かったのかなぁと思います。
6. 同窓会を開いて一番嬉しかったのは、有志7、8人で足利高校を訪問したことです。開いている時間に訪問しましたら、茂木先生という先生が学校を案内してくださり、教室にも連れて行ってくださいました。我々が実際に勉強した教室ではなかったかもしれませんが、席に座って1～2分過ごしました。皆さん、感慨深そうでした。それから、今までのことを振り返ってお話をしました。お話が一番上手かったのは、千葉大学の医学部の教授をしている秋草君でした。それは、これからは地球温暖化の時代ではなく、もしかしたら地球が冷える時代に入るかもしれない。そんなことを考えるのも面白いよというお話でした。さすが大学教授だなあと、みんなで感服した次第です。
7. このように、たまには自分の母校に行き、親しみのある教室でたとえ2～3分でも過ごさせていただくと、「あっ、こんなこともあったなぁ」とよい思い出になるかもしれません。今日は昔話をして恐縮ですが、栃木県立足利高校で3年間一緒に過ごした同級生に優秀な方が多かったので、その影響で私やほかの生徒も勉強することができてよかったなぁというお話をさせていただきました。
8. ぜひ、放送をお聴きの皆さんも、中学校や高校、それからいろいろな学校の同窓会を積極的に開催していただきたいと思います。そして、錦は飾れないかもしれませんが、母校を訪れて教室に案内していただき、1～2分席に座らせていただくのも素晴らしい過ごし方ではないかと思えます。